

三原市立大和中学校区で育成を目指す情報活用能力(情報の収集)に関する各教科の具体例

～保健体育科～

学 年

中学校第1学年

単 元 (題 材)

器械運動 (跳び箱運動)

内容

B 器械運動

(1) 次の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、技をよりよく行うこと。

エ 跳び箱運動では、繰り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと。

見方・考え方

運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けること

学習目標

技ができる楽しさや喜びを味わい、器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力等を理解するとともに、自己に適した技で演技することができる。

情報の収集の型

12 観察や実験を通して必要な情報を集める

情報の収集の具体



友達に演技を撮影してもらっている様子



第1回の演技



練習後の演技

自分の演技の課題点を見つけるために、演技の様子を撮影した。撮影後、自分の状態（ビフォー）と参考動画・画像（アフター）を比較し、ワークシートに自分ができていない部分を明記した。この生徒は、ビフォーとアフターを比べる活動を通して、頭頂部ではなく、後頭部を接地することができるようになった。